

令和5年度幼保小連携推進地区事業活動報告

推進テーマ

「園生活から小学校生活へ」

～子どもの育ちと学びをつなぐ支援を目指して～

西柴地区
西柴小学校
西柴保育園

推進テーマ設定の理由

「園生活から小学校生活へ」

～子どもの育ちと学びをつなぐ支援を目指して～

子どもたちの願いや思いが実現し、幼稚園・保育園での豊かな経験を小学校生活で円滑に生かし、学習や望ましい生活につなげることを目指すため。

小学校に入学する前に、園児・児童、また保育者・指導者が交流したり情報交換したりすることで、子どもたちが安心して学校生活を送ろうとする気持ちをもてることを目指すため。

互いの園・学校で行う行事や活動・学習内容を共通理解することでさらにより内容を検討・改善することを目指すため。

今年度の重点課題

昨年度は、2年目の連携推進地区事業の取組であることと、コロナが終息したことにより、園と学校との子ども同士の直接交流ができるようになってきた。

今年度は、子ども同士が直接ふれ合える機会をさらに多くもつことで、相手を思いやる気持ちを育て、新1年生を迎えることへの意識を高めていくこと。そしてスタートカリキュラムを充実させていくことに重点をおく。

今年度の西柴小学校の取組

- 3月～4月 保育者・指導者の交流（主に入学児童についての情報交換）
- 4月 第1回推進委員会（今年度の年間計画）
- 5月 園児・児童 小学校での交流（16日実施）
第2回推進委員会（反省と今後の計画）
- 6月 園児・児童 保育園での交流（19日、21日、26日実施）
- 7月 幼保小教育交流 金沢第3ブロック研究会
- 9月 次回公園交流の打合せ
幼保小教育交流 金沢第3ブロック（ハ景小にて）
- 11月 園児・児童の公園交流（6日、15日、16日実施）
幼保小教育交流 金沢第3ブロック（ハ景小にて）
- 1月 園児・児童の学校での交流（23日実施）
- 3月 第3回推進委員会（年間のふりかえり）

スタートからキュラム

毎日、2時間目をなかよしタイムにして、
みんなで思い切り遊びました。
「やったことある!」「知ってる!!」と園児
たちが安心してできる遊びをしました。



ひろいたいいくかんで
あそべてたのしいな..

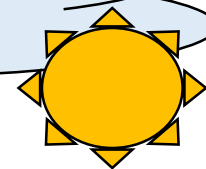
視覚的にわかりや
すい掲示物



ろっかあのかなか



交流の様子① ~5月 in西柴小~



はじめの言葉



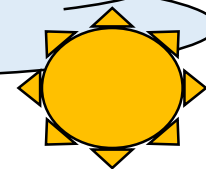
みんなの前で話すの緊張するなあ。

よく話を聞いて一緒に動くよ。せえ~の!!



まねっこゲーム

交流の様子① ~5月 in西柴小~



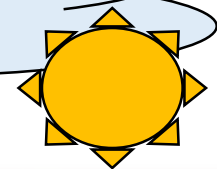
フラフープくぐり



どうしたら、上手にフラフープをくぐれるかなあ。



交流の様子② ~6月 in西柴小~



絵本の読み聞かせ



何をすると年長さんに喜んでもらえるのか、みんなで考えました。

いろぬり



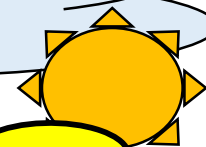
楽しんでもらえるように、たくさん読む練習をしたよ。



紙ゴップで何が
できるかな？

みんなでいろぬり
するとたのしいなあ。

交流の様子③ ~11月 in西柴第一公園~



どんじゃんけん

1年生リーダーのすることをよく見て同じように動くよ。

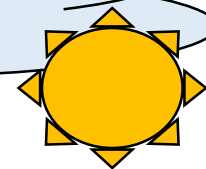


ぴよぴよさん



今度は1年生に負けないぞ。

交流の様子④ ~1月 小学生体験~

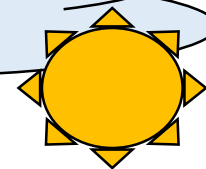


授業体験

「この動物の数を数えるんだよ。」
「色をぬってね。」
1年生はドキドキの時間でした。



交流の様子 ~1月 小学生体験~



タブレット体験



タブレットを使って、こうやって
ひらがなの勉強をするんだよ。

ランドセル体験



「早く入学したいな。」と言ってもら
えてみんなにっこり。

購入報告

【紙コップ】

どこまで高く積み上げられるか挑戦している子やお家を建てている子もいました。



スタートカリキュラムでも使いました。



【カプラ】

初めて手にする子が多く、夢中になって遊ぶ姿が見られました。



三年目を終えて

昨年度は、規制はあったものの園児との直接交流を3回行うことができた。子どもたちは園児たちを身近に感じ、自発的に考えた行動が見られた。今年度は園のホールでの活動も加わり、より充実した活動ができた。また、学年で、足並みをそろえてスタートカリキュラムを行うことができた。

成果

- ・児童が幼稚園や保育園の子どもたちに学んだことを伝えたい・教えたいという目的意識をもって活動することができた。
- ・園児との直接交流を通して、相手意識をもって関わることや、自分の成長を感じることができた。
- ・園児たちの様子を見ながら情報交換ができたので、来年度のスタートカリキュラムに生かしていきたい。

今後に向けて

- 推進地区事業はこれで最後になるが、この取組で得たつながりを大切に、今後も幼保小の連携を進めていけるようにしたい。そのために園と小学校とが年間を通して無理なく交流できるよう計画を立て、実践していきたい。
- つながりを意識したカリキュラムの充実を図るため、お互いに大切にしていることや園児たちの様子などを共有し、スムーズに小学校生活に入っていけるようスタートカリキュラムの内容の見直しをしていきたい。